

忠海まちづくり通信

第3号

発行：竹原市建設部都市整備課

TEL 0846-22-7749

Efforts To Attractive TADANOUMI

忠海のまちをよりよいものにするために、この通信では、まちづくりの話し合いの経過報告を中心に、忠海のまちづくりの取り組みについて、地域の皆さまに情報発信していきます。

『忠海の魅力あるまちづくりにむけて』

忠海第2地区協働のまちづくりネットワークで報告！！

平成 29 年 4 月 24 日（月）に開催された忠海第2地区協働のまちづくりネットワーク平成 29 年度代議員会で竹原市都市整備課職員が『忠海の魅力あるまちづくりにむけて』と題して、現在の取り組み状況について報告いたしました。

『なぜ今まちづくりを考えるのか？』

忠海には古い町屋や神社仏閣等の歴史的建築物が多くあるとともに、最近は「うさぎの島」として多くの観光客が年間約 25 万人訪れています。一方で、人口減少や少子高齢化の影響により空き家・空き店舗の増加など地域の活力が失われつつあります。観光客がまちなかを回遊する仕組みを構築するため、地域住民や地域外の方達と一緒に、ワークショップを活用しながら、事業や具体的なアクションを生み出すものです。

1. 意識啓発、現状の把握

魅力的なまちをつくる取組みとは、忠海の資源とは、を新しい視点で発見する (平成 29 年 2 月 18 日開催済)

2. 将来像の共有

どんなまちであってほしいか、どんな光景を見たいか、を共有する (平成 29 年 6 月 11 日開催予定)

3. 実現化方策の検討

まちの将来像を具体化するには「誰が」「何をすればよいのか」を議論する

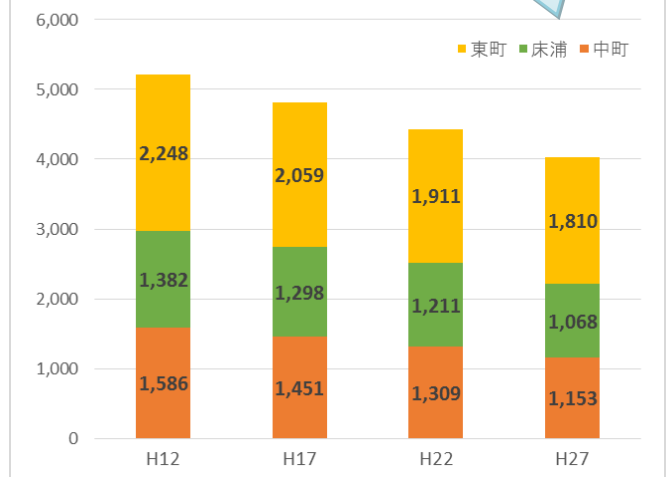
4. 発展

取組みを育てる、繋げる方法を考える

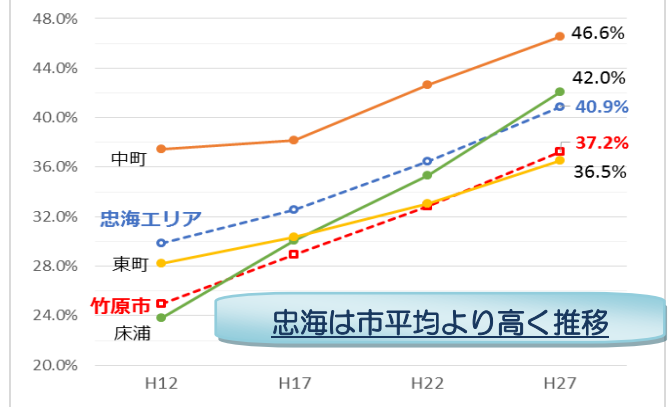
ワークショップの流れです！

15年間で約1,000人減少しています

居住人口の推移



高齢化率の推移



忠海は市平均より高く推移

報告会の様子



まちづくりに関する様々な取り組み事例

公共空間を活用した無料の座り場の設置：（松山市）

まちづくりの小さな変化を体感

Before

- ・歩行者通行量が減少し、空間の余剰化が進む商店街の市道空間を居心地のよい市民のリビングスペースとして活用することが、賑わいの創出や地区の価値の向上、沿道店舗の意識啓発にもたらす効果を検証する実証実験を行った。
- ・近年、まちの魅力は商業活力ではなく「居心地の良さ」であると言われていることから、アーケード商店街の空き店舗前に、誰でも自由に使うことのできる「座り場」空間を可動イス 60脚と可動テーブル 15基、その他植栽や照明を用いて、簡易にデザイン性の高い空間を創出した。
- ・利用者の 96%がまた利用したいと回答するなど市民の高いニーズを確認、継続的な座り場の維持・管理の担い手を志願する若手の発掘に成功した。



After

新たな担い手を発掘



公園を活用して居心地よい空間を創出する実証実験（弘前市）

公共空間を居心地の良い場所へ

- ・普段はほとんど使用されていない公園が、自由に移動して使えるイスやテーブルを持ち込むことで、市民の心地よい居場所となることを実証する社会実験を実施した。座り場と、プログラム（交換型書店※）とを組み合わせることにより、まちなかには市民の多様なアクティビティ需要があることを確認した。※持ち寄った本を自由に他の本と交換し合う形式の書店
- ・地元の弘前青年会議所のメンバーが中心となって運営を行い、デザイン等の技術的な側面を支援することにより、地元の若手プレイヤーの意識向上やスキルアップを図った。その後、地元メンバーにより大学のキャンパス等、様々な場所での展開を継続している。



持続的なまちづくりを展開



★お知らせ『忠海プロジェクト』第2回ワークショップを6月11日（日）に忠海公民館で開催します。皆さまのご参加をお待ちしております！！